

平成30年度収蔵作品(受贈)

| No. | 作家名      | 作品名                      | 制作年                 | 寸法(cm)(縦・横・奥行)       | 技法・素材               |
|-----|----------|--------------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| 1   | 中西一路     | 小名の濱小屋                   | 1940                | 194.5×181.0          | 墨、顔料・紙              |
| 2   | 北代省三     | エントロピー                   | 不詳                  | 25.6×28.5(両面に描画あり)   | インク、水彩・紙            |
| 3   | 若松光一郎    | 漁港                       | 不詳                  | 15.5×22.7            | 油彩・板                |
| 4   | 若松光一郎    | 風景                       | 1944頃               | 31.0×41.2            | 木炭・紙                |
| 5   | 若松光一郎    | 夕景                       | 1945                | 31.5×41.0            | 油彩・カンヴァス            |
| 6   | 若松光一郎    | 鈴木新夫                     | 1944                | 36.3×26.6            | コンテ、水彩、パステル・紙       |
| 7   | 若松光一郎    | 桜島                       | 1974                | 45.9×60.5            | 水彩、墨・紙              |
| 8   | 若松光一郎    | スケッチブック(1954-55)         | 1954.11/1~1955.2/4  | 12.5×17.3            | 鉛筆、ペン、水彩・紙          |
| 9   | 若松光一郎    | スケッチブック(1956)            | 1956                | 26×18.7              | 鉛筆、ペン、水彩・紙          |
| 10  | 若松光一郎    | スケッチブック(1970-71)         | 1970.6/28~1971.6/13 | 16×23.2              | 鉛筆、ペン、水彩・紙          |
| 11  | 若松光一郎    | スケッチブック(1971)            | 1971                | 13.9×17.5            | 鉛筆、ペン、水彩・紙          |
| 12  | 若松光一郎    | スケッチブック(1974)            | 1974                | 14×17.9              | 鉛筆、ペン、水彩・紙          |
| 13  | 若松光一郎    | スケッチブック(1979)            | 1979                | 22×14.8              | 水彩・紙                |
| 14  | 若松光一郎    | スケッチブック(1979)            | 1979.6/11~6/12      | 17.6×24.7            | 木炭、コンテ、ペン、クレヨン、水彩・紙 |
| 15  | 朝倉 撰     | 古河好間                     | 1956                | 40.9×32.5            | 鉛筆・紙                |
| 16  | 朝倉 撰     | スケッチブック(1956福島古河好間、小田炭坑) | 1956                | 41.0×33.514葉のうち8葉に素描 | 鉛筆・紙                |
| 17  | 佐藤忠良     | 母子想                      | 1952                | 16.0×7.8             | 鉛筆、水彩・紙             |
| 18  | 佐藤忠良     | フミコ                      | 1981-82             | 32.5×18.0×21.0       | ブロンズ                |
| 19  | 佐藤忠良     | 中学三年生・竜                  | 1984                | 25.5×17.0×21.5       | ブロンズ                |
| 20  | 脇田和ほか14人 | 「すまい・海石絵のコレクション」         | 1989頃-2015          | (全28点)               | 石に彩色                |

(受贈資料)

| 資料内容 |   |
|------|---|
| 1    | 北代省三「ラディオ・ギャラククス」に関する資料、制作年不詳、①35.5×50.2cm、②35.0×50.0cm、③①のコピー数枚 インク、鉛筆・紙 |
| 2    | 書籍『佐藤忠良 I、II』(講談社1987年7月1日発行、特装限定版36/200 佐藤忠良のエッチング《女の顔》36/1000付)         |

◇中西一路(なかにし いちろ):1907年岡山県生まれ。東京美術学校で結城素明のもとで学ぶ。在学中に帝展入選。1932年東京美術学校卒業後、磐城女子高に赴任。美術を教え、多くの生徒を中央の公募展に入選させたことでも知られる。いわきの日本画を代表する一人。

◇北代省三(きただい しょうぞう):1921年東京生まれ。新居浜高等工業専門学校卒業。戦後、独学で美術の道を志す。1951年「実験工房」の結成に参加。絵画、モビール、舞台美術、映像制作など幅広いジャンルの作品を手掛ける。2001年逝去。

◇若松光一郎(わかまつ こういちろう):1914年いわき市生まれ。東京美術学校で藤島武二のもとで学び、1938年卒業。1941年新制作派協会展で新作家賞受賞。1956年以降同会会員として活躍。1960年代前半、抽象表現を手掛け始める。いわきの美術を代表するひとり。1995年逝去。

◇佐藤忠良(さとう ちゅうりょう):1912年宮城県大和町生まれ。1939年東京美術学校彫刻科卒業。新制作派協会彫刻部創立に参加、会員として活躍。1981年フランスのロダン美術館で個展開催。佐藤は戦後日本の具象彫刻を代表する作家のひとり。2011年逝去。

◇朝倉撰(あさくら せつ):1922年東京生まれ。父は彫刻家朝倉文夫、妹は彫刻家朝倉響子。1939年伊藤深水のもとで日本画を学ぶ。1951年新制作協会会員となる。1956年佐藤忠良らといわきの炭鉱をスケッチに来る。1970年以降、舞台美術の仕事が中心となる。2014年逝去。